

子どもの低身長について



身長は子どもの成長の中で保護者の方が関心を持たれることが多いポイントです。

低身長とは

医学的には成長曲線(母子手帳などにあります)の一番下のラインを下回った場合を低身長と考えます。低身長には遺伝の影響などの体質が原因である場合が最も多いですが、一部に成長ホルモンが少ないために身長が伸びにくいくどもいます。このような場合には成長ホルモンの注射を毎日ご自宅で行うことで、身長の伸びが期待できます。

検査・治療法

成長ホルモンが十分にあるかどうかの検査は実は簡単ではありません。というのも成長ホルモンは、例えば時間帯や食事の影響などでも値が変わり、一回の採血では十分に出ているかわからぬためです。このため成長ホルモンの値の変動を少なくする薬を点滴などの形で投与して、その後に採血する負荷試験という検査が行われます。時間がかかることと、まれですが薬による副作用もあるため当院では数日程度入院していただき、この負荷試験をおこなっています。この検査の結果が一定の基準を満たした場合に成長ホルモンの分泌が少ないと判断され、注射による治療が開始されます。医療費につきましては、低身長の程度により特定疾患として認定されれば、医療費が無料になる場合があります。詳しくは、受診後に当院医事課にてご相談いただけます。



治療開始時期

成長ホルモンの治療を始める場合は、あまりに遅く治療を開始しても身長の伸びが期待できません。できれば思春期が始まる前くらいに検査や治療を行った方が良いと思われています。お子さんが成長曲線を下回る状態がしばらく続いている場合には、小学校前半のうちに一度受診をお勧めします(もちろんそれより前でも問題ありません)。受診の際には過去の身長の記録もお持ちください。



小児科部長
竹内 正人
社団法人日本小児科学会認定
小児科専門医
名古屋市立大学1997年卒業

低身長でご心配の方は、当院小児科にてご相談いただけます。

ご予約方法

電話予約 **04-7123-5901**

月曜日～土曜日 9:00～16:00 ただし、祝日および病院指定休診日を除く

スタッフ急募 医事課・健診事務パート社員

お問合せ・お申し込みは

キッコーマン総合病院 採用

<http://hospital.kikkoman.co.jp/recruit/index.html>

kikkoman
キッコーマン総合病院

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100
電話04(7123)5911(代) FAX 04(7123)5920
<http://hospital.kikkoman.co.jp/>